

# 【小施策評価(平成30年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり	小施策 主管課等	学務教職員課	
施策	17	子どもの教育の充実	評価 責任者	紺野 好弘	内線 7320
小施策	17-2	幼稚園教育の充実	評価 シート 作成者	伊藤 佳子	内線 7321

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
子育て相談などの子育て支援, 小学校及び地域との連携, 保護者のニーズに対応した保育サービスの一層の充実を図る必要がある。		生涯にわたる人格形成の基礎を培うため, 望ましい幼児教育や教育環境を提供するするとともに, 保護者への支援に取り組む。また, 幼稚園と小学校, 地域との連携を深める。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
幼児 保護者		健やかな成長が図られる。 安心して幼稚園教育を受けさせることができる。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移					実績の評価																								
指標①	単 位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析																								
保護者の満足度(市立幼稚園の保護者アンケートによる)	%	↗	・園舎や園庭の整備についてよく整備されているに「とてもそう思う」と回答した保護者割合が増加した。 ・安全面や環境面に配慮し, 幼児に安心して幼稚園教育を受けさせることができた。	⇒	・園舎管理等の環境整備の面で市立各園の要望にあった適切な予算配分を行った。 ・教職員による安全点検・環境整備が適正に実施された。																								
当初値 (H25)	85.0	R1目標値	100.0	⇒	問題の要因分析																								
		R6目標値	100.0		・幼児理解に基づく個の特性に応じた指導や, 幼稚園から保護者への積極的な情報発信並びに小学校入学時を見通したきめ細かな取組など教育環境の一層の充実に向けた施策の推進が必要である。 ・一部の幼稚園では, 園児の減少に伴い, 集団での遊びや体験の機会が減少し, 発達段階に応じた幼児教育が保障されにくい状況が生じている。 ・園児数が少ない幼稚園では, 遊びや体験の限定や固定化により, 保護者の満足度が低下していることが考えられる。 ・保護者のニーズに対応した保育サービスの充実が求められているが, 市立幼稚園はいずれも園児の数が少なく, 運営効率の面から様々な取組の拡大は難しい状況である。																								
<table border="1"> <caption>保護者の満足度(市立幼稚園の保護者アンケートによる)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値 (H25)</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>83.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>82.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>77.0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>			年度	満足度 (%)	当初値 (H25)	85.0	H27	85.0	H28	83.0	H29	82.0	H30	77.0	R1	100.0	R2		R3		R4		R5		R6	100.0	<p>・保護者の満足度(・喜んで登園している・園は情報を伝える努力をしている等)が全般的に目標値を下回り, 低下傾向にある。</p>		
年度	満足度 (%)																												
当初値 (H25)	85.0																												
H27	85.0																												
H28	83.0																												
H29	82.0																												
H30	77.0																												
R1	100.0																												
R2																													
R3																													
R4																													
R5																													
R6	100.0																												

## 今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<p>★ 引き続き, 一人一人の子どもの性格や長所等を把握して, きめ細かな幼児教育を提供するとともに, 園だよりやクラスだよりを中心に保護者への情報発信を図る。</p> <p>★ スタートカリキュラムを活用し, 幼稚園教育と小学校教育の相互理解と円滑な接続, 交流活動の推進を図る。</p> <p>★ ☆1 園児数減少の幼稚園については, 発達段階に応じた幼児教育の保障が困難であることから, 園の廃止や民間譲渡を視野に入れ検討する。</p>	